

資料3

和平派 秦檜

1090 年		誕生
1115 年	25 才	科举に合格し、出世を重ねる
1126 年	36 才	開封が金に占領される（靖康の変） …皇帝（徽宗）は捕虜となる …生き残りの皇族（高宗）が南宋を建国 …秦檜自信も捕虜として金へ連行される
1130 年	40 才	金から脱走し、南宋に帰着。高宗の信任を得る。
1131 年	41 才	宰相に就任
1141 年	51 才	主戦派を押さえ込み、岳飛を反逆罪により処刑する 南宋の人々からは、金と密約をしたスパイと非難される
1142 年	52 才	金と和平条約を結ぶ（紹興の和約）
1155 年	65 才	死去

秦檜の主張

新興国家である金の勢い、強さにはものすごいものがある。金と戦って領土を奪回するなんていうのは、話としては景気がいいけれど全く不可能。そんなことをしては南宋まで滅びることになる。宋は、建国の祖である趙匡胤の時代から文治主義の国であり、金と南宋は住み分けをして、友好関係を築くのが現実的である。

秦檜の妻の像の写真

秦檜の像の写真

左は、秦檜の妻。どちらの像も頭と肩がなぜか黒光りしている。